

金融 EDI サポート

操作マニュアル

CSV フォーマット設定編

1.2 版

目次

1 CSV フォーマット設定について.....	3
1.1 CSV フォーマット設定の概要.....	3
1.2 CSV フォーマット設定の流れ.....	5
1.3 CSV フォーマットについて	6
2 読込 CSV フォーマットの設定	7
2.1 読込 CSV フォーマットの新規作成.....	7
2.1.1 読込 CSV フォーマットを新規作成する【総合振込データ】	7
2.1.1.1 ヘッダレコード有りフォーマット	11
2.1.1.2 ヘッダレコード無しフォーマット	15
2.1.2 読込 CSV フォーマットを新規作成する【金融 EDI 情報】	19
2.1.2.1 金融 EDI 情報_S-ZEDI.....	22
2.1.2.2 金融 EDI 情報_D-ZEDI (売掛消込)	26
2.1.2.3 金融 EDI 情報_D-ZEDI (リベート)	30
2.1.3 読込 CSV フォーマットを新規作成する【振込先口座情報】	34
2.2 読込 CSV フォーマットの修正.....	40
2.2.1 読込 CSV フォーマットを修正する	40
2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定	43
2.3.1 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する	43
2.4 読込 CSV フォーマットの削除.....	46
2.4.1 読込 CSV フォーマットを削除する	46
3 補足事項 (読込 CSV フォーマット設定).....	48
3.1 読込 CSV フォーマット形式 (ヘッダレコード有り/無し)について	48
3.1.1 ヘッダレコード有りフォーマット	49
3.1.2 ヘッダレコード無しフォーマット	50
3.2 読込 CSV フォーマットの項目番号 (読込位置)について.....	53
3.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について	54

はじめに

本書では、CSV フォーマットの設定方法を説明します。

1 CSV フォーマット設定について

1.1 CSV フォーマット設定の概要

本ソフトは、総合振込データファイルの作成または振込先口座情報の管理を行う際に、事前に設定した CSV フォーマットで CSV ファイルを読み込むことができます。

各種読込 CSV について、設定できるフォーマットは以下となります。

 総合振込データ：

- ・標準フォーマット（全銀協規定フォーマット（ヘッダレコード有り））
- ・任意フォーマット（項目の順序およびヘッダレコードの有無を自由に設定したフォーマット）、

 金融 EDI 情報：

- ・標準フォーマット（全銀ネット S-ZEDI18 項目のフォーマット(S-ZEDI)）
- ・標準フォーマット（流通 BMS 標準仕様のフォーマット(D-ZEDI（売掛消込））
- ・標準フォーマット（流通 BMS 標準仕様のフォーマット(D-ZEDI（リポート））
- ・任意フォーマット（項目の順序および金融 EDI 情報テンプレート種別を自由に設定したフォーマット）

 振込先口座情報：

- ・標準フォーマット（本ソフトの標準フォーマット）
- ・任意フォーマット（項目の順序を自由に設定したフォーマット）

※フォーマット項目詳細については、基本操作編「**6.4 CSV ファイルについて**」をご参照ください。

CSV ファイル読込時

総合振込データ作成画面

- 標準フォーマット (ヘッダレコード有り)
- 任意フォーマット

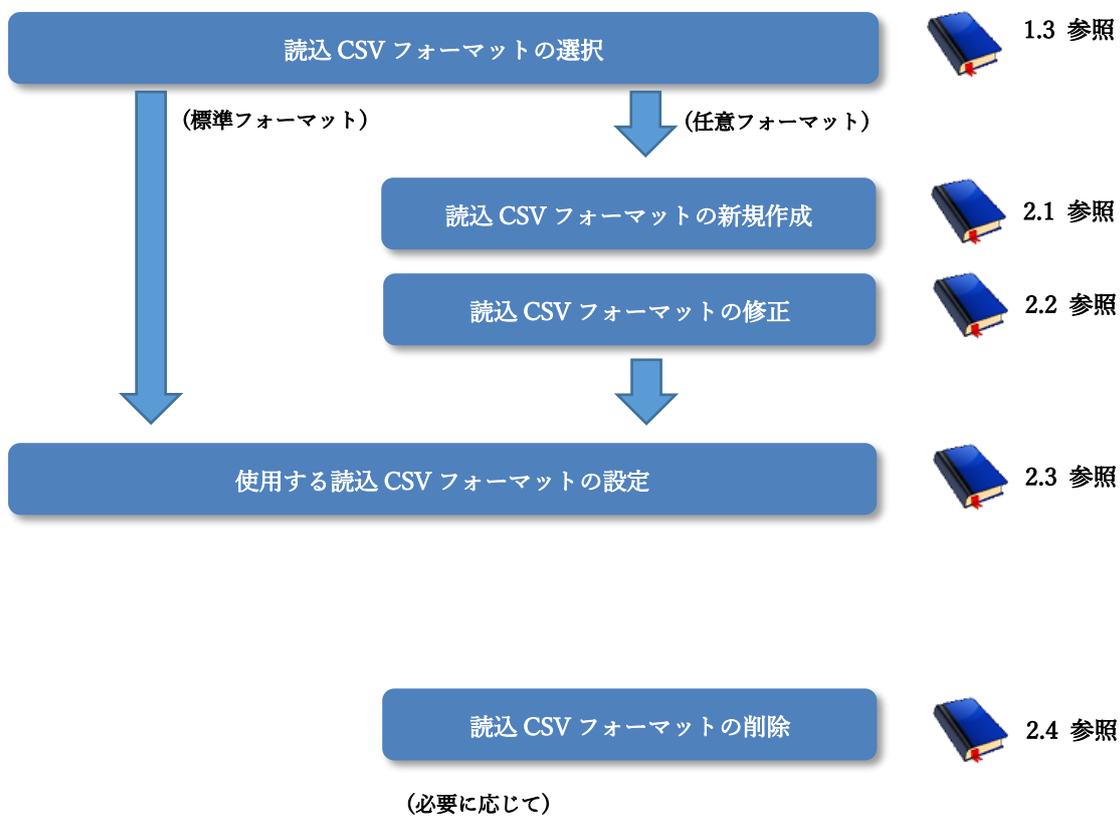
総合振込データ作成詳細画面

- 標準フォーマット (S-ZEDI)
- 標準フォーマット (D-ZEDI(売掛消込))
- 標準フォーマット (D-ZEDI(リベート))
- 任意フォーマット

振込先口座管理画面

- 標準フォーマット
- 任意フォーマット

1.2 CSV フォーマット設定の流れ



1.3 CSV フォーマットについて

本ソフトで設定できる読込 CSV フォーマットの一覧を以下に示します。

No	フォーマット	概要	使用画面
1	標準フォーマット (ヘッダレコード有り)	全銀協規定フォーマット (初期設定) です。	総合振込データ作成画面
3	標準フォーマット (S-ZEDI)	全銀ネットS-ZEDI18項目のフォーマットです。	総合振込データ作成詳細画面
3	標準フォーマット (D-ZEDI (売掛消込))	流通BMS標準仕様の売掛消込のフォーマットです。	総合振込データ作成詳細画面
3	標準フォーマット (D-ZEDI (リポート))	流通BMS標準仕様の販売条件・リポートのフォーマットです。	総合振込データ作成詳細画面
4	標準フォーマット	本ソフトの標準フォーマット (初期設定) です。	振込先口座管理画面
5	任意フォーマット	お客様にて自由に設定可能なフォーマットです。お客様のCSVファイルに応じたヘッダレコードの有無または金融EDI情報形式を指定、項目と本ソフトの画面項目を対応付け(紐付け)、お客様指定のCSVファイルの読込ができます。	総合振込データ作成画面 総合振込データ作成詳細画面 振込先口座管理画面

2 読込 CSV フォーマットの設定

2.1 読込 CSV フォーマットの新規作成

任意フォーマットで読込 CSV フォーマットを新規作成する方法を説明します。

操作手順



操作方法

2.1.1 読込 CSV フォーマットを新規作成する【総合振込データ】

✚ システム設定画面を開き、「読込 CSV 設定」>「総合振込データ」の[新規作成]を押下します。

システム設定

共通設定情報

ファイル出力先 参照

振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 使用する 使用しない

受取人法人番号 (法人マイナンバー) 使用する 使用しない
※振込先口座情報で登録可能です

口座種別区分 別段を使用する 別段を使用しない

読込CSV設定

総合振込データ	<input type="text" value="標準フォーマット (ヘッダレコード有り)"/>	修正	削除	新規作成
金融EDI情報	<input type="text" value="標準フォーマット (S-ZEDI)"/>	修正	削除	新規作成
振込先口座情報	<input type="text" value="標準フォーマット"/>	修正	削除	新規作成

キャンセル 保存

- ✚ [新規作成]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面が表示されます。
- フォーマット名を入力し、ヘッダレコードの有無を選択後、[設定]を押下して読込 CSV フォーマット詳細設定画面に遷移もしくは[更新]を押下して詳細設定せずに保存します。
- (フォーマット形式の詳細については「3.1 読込 CSV フォーマット形式 (ヘッダレコード有り/無し)について」をご参照ください。)

読込CSVフォーマット共通設定

総合振込データ(CSV)の読込む項目の順番を自由に設定できます。

総合振込データ

フォーマット名 テスト読込フォーマット

ヘッダレコード あり なし

設定 ※未設定

閉じる 更新



ヘッダレコード有りフォーマットとは、1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定された CSV ファイルを読込む場合に使用するフォーマットです。

ヘッダレコード無しフォーマットとは、データ情報のみが設定された CSV ファイルを読込む場合に使用するフォーマットです。

- ✚ [更新]を押下した場合、保存が完了すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。

通知

CSVフォーマットを更新しました。

OK

- 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。
引き続き[修正]を押下し、フォーマットの詳細設定を行ってください。
(修正については「2.2 読込 CSV フォーマットの修正」をご参照ください。)

システム設定

共通設定情報

ファイル出力先 参照

振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 使用する 使用しない

受取人法人番号 (法人マイナンバー) 使用する 使用しない
※振込先口座情報で登録可能です

口座種別区分 別段を使用する 別段を使用しない

読込CSV設定

総合振込データ 修正 削除 新規作成

金融EDV情報 修正 削除 新規作成

振込先口座情報 修正 削除 新規作成

キャンセル 保存



任意フォーマットの CSV フォーマットを新規作成後、読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行う必要があります。詳細設定が完了していないフォーマットを使用して CSV の読込を行うと、下記エラーが発生します。

エラー

読込CSVフォーマットが設定されていません。読込CSVフォーマット詳細設定画面で設定してください。

OK

-
- 🌈 [設定]を押下した場合、読込 CSV フォーマット詳細設定画面が開きます。
フォーマット形式が「ヘッダレコード有り」の場合は「**2.1.1.1 ヘッダレコード有りフォーマット**」を、
「ヘッダレコード無し」の場合は「**2.1.1.2 ヘッダレコード無しフォーマット**」をご参照ください。

2.1.1.1 ヘッダレコード有りフォーマット

読込 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。

読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行います。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名: 総合振込データヘッダ有り フォーマット形式: ヘッダレコード有

対象ファイル: 総合振込データ

読込CSV項目設定

ヘッダレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
グループメッセージID		
振込日		
支払情報ID		
振込依頼人コード		
振込依頼人名(カ)		
振込元金融機関コード		
振込元支店コード		
振込元口座種別		
振込元口座番号		

データレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
取引ID詳細識別番号		
受取人名(カ)		
振込先金融機関コード		
振込先金融機関名(カ)		
振込先支店コード		
振込先支店名(カ)		
振込先口座種別		
振込先口座番号		
振込金額		
顧客コード1		
顧客コード2		

*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、総合振込データ作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

キャンセル 保存

ヘッダレコード項目

ヘッダレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）を設定してください。
(項目番号（読込位置）の詳細については「3.2 読込 CSV フォーマットの項目番号（読込位置）について」をご参照ください。)

ヘッダレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
グループメッセージID		
振込日		
支払情報ID		
振込依頼人コード		
振込依頼人名(加)		
振込元金融機関コード		
振込元支店コード		
振込元口座種別		
振込元口座番号		

データレコード項目

データレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）または固定値を設定してください。

固定値を設定した場合、CSV ファイル読込の際、総合振込データ作成画面の初期値として設定されます。
(項目番号は設定できません)

(項目番号（読込位置）の詳細については「3.2 読込 CSV フォーマットの項目番号（読込位置）について」を、
固定値の詳細については「3.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について」をご参照ください。)

データレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
取引明細識別番号		
受取人名(加)		
振込先金融機関コード		
振込先金融機関名(加)		
振込先支店コード		
振込先支店名(加)		
振込先口座種別		
振込先口座番号		
振込金額		
顧客コード1		
顧客コード2		
EDI情報(20桁)		
新規コード		

- 設定完了後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。

項目番号（読込位置）が未設定の項目（読込 CSV ファイルに存在しない項目）については、総合振込データ作成画面にて CSV ファイル読込を行った後、画面にて任意の値を入力する必要があります。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名: 総合振込データヘッダ有り フォーマット形式: ヘッダレコード有
対象ファイル: 総合振込データ

読込CSV項目設定

ヘッダレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
グループメッセージID	1	
振込日	2	
支払情報ID	3	
振込依頼人コード	4	
振込依頼人名(カ)	5	
振込元金融機関コード	6	
振込元支店コード	7	
振込元口座種別	8	
振込元口座番号	9	

データレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
振込先金融機関コード		
振込先金融機関名(カ)	10	
振込先支店コード		
振込先支店名(カ)		
振込先口座種別		
振込先口座番号	11	
振込金額		
顧客コード1		1234567890
顧客コード2		1234567890
EDI情報(20桁)		
新規コード		

*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、総合振込データ作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

キャンセル **保存**

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。

通知

設定情報を保存しました。

OK

- [OK]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面に戻ります。
[更新]を押下して設定情報を保存します。

読込CSVフォーマット共通設定

総合振込データ(CSV)の読込む項目の順番を自由に設定できます。

総合振込データ

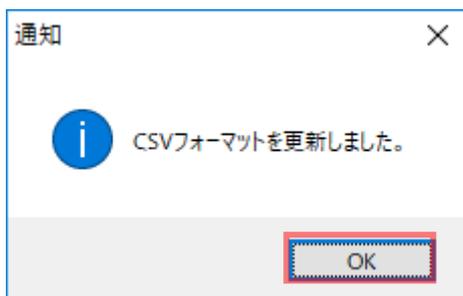
フォーマット名: 総合振込データヘッダ有り

ヘッダレコード: あり なし

設定

閉じる **更新**

- ✚ [更新]を押下して保存が正常に完了すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。



- ✚ 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。

引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。

(使用フォーマットの設定については「2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定」をご参照ください。)



2.1.1.2 ヘッダレコード無しフォーマット

- 読込 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。

読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行います。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル

読込対象設定

読込むCSVファイルに読込対象外としたい行がある場合に設定します。
すべて読込む場合は設定不要です。

最初の 行は読込まない

最後の 行は読込まない

読込対象設定

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
取引明細識別番号		
受取人名(か)		
振込先金融機関コード		
振込先金融機関名(か)		
振込先支店コード		
振込先支店名(か)		
振込先口座種別		
振込先口座番号		

*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、総合振込データ作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

キャンセル

読込対象設定

【読込対象外行_最初】

任意フォーマットの総合振込データ CSV ファイルの最初に不要な行が存在する場合は、読みとばす行数を設定します。不要な行が存在しない場合は設定不要です。

【読込対象外行_最後】

任意フォーマットの総合振込データ CSV ファイルの最後に不要な行が存在する場合は、読みとばす行数を設定します。不要な行が存在しない場合は設定不要です。

読込 CSV 項目設定

データレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）または固定値を設定してください。

固定値を設定した場合、CSV ファイル読込の際、総合振込データ作成画面の初期値として設定されます。（項目番号は設定できません）

（項目番号（読込位置）の詳細については「[3.2 読込 CSV フォーマットの項目番号（読込位置）について](#)」を、固定値の詳細については「[3.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について](#)」をご参照ください。）

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
取引明細識別番号		
受取人名 (加)		
振込先金融機関コード		
振込先金融機関名 (加)		
振込先支店コード		
振込先支店名 (加)		
振込先口座種別		
振込先口座番号		
振込金額		
顧客コード1		
顧客コード2		
EDI情報 (20桁)		
新規コード		

- 設定完了後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。

項目番号（読込位置）が未設定の項目（読込 CSV ファイルに存在しない項目）については、総合振込データ作成画面にて CSV ファイル読込を行った後、画面にて任意の値を入力する必要があります。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル

読込対象設定

読込むCSVファイルに読込対象外としたい行がある場合に設定します。
すべて読込む場合は設定不要です。

最初の 行は読込まない

最後の 行は読込まない

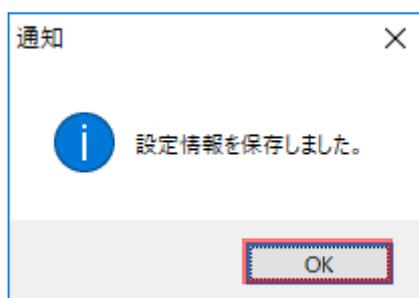
読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
振込先支店名(加)	3	
振込先口座種別		
振込先口座番号		
振込金額		
顧客コード1		1234567890
顧客コード2		
EDI情報(20行)		
新規コード		

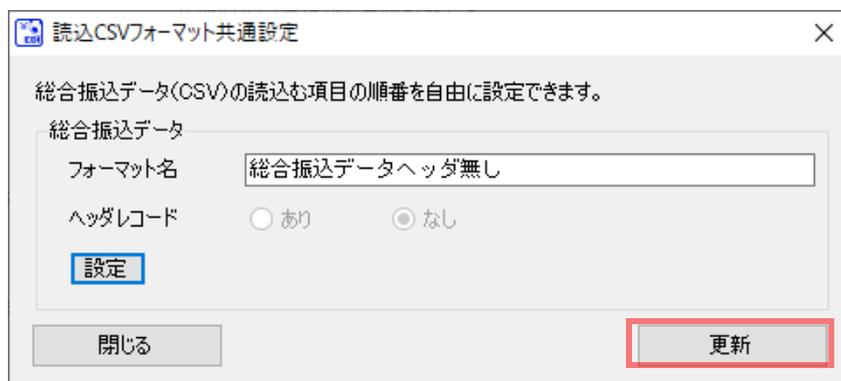
*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、総合振込データ作成画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。



✚ [OK]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面に戻ります。

[更新]を押下して設定情報を保存します。



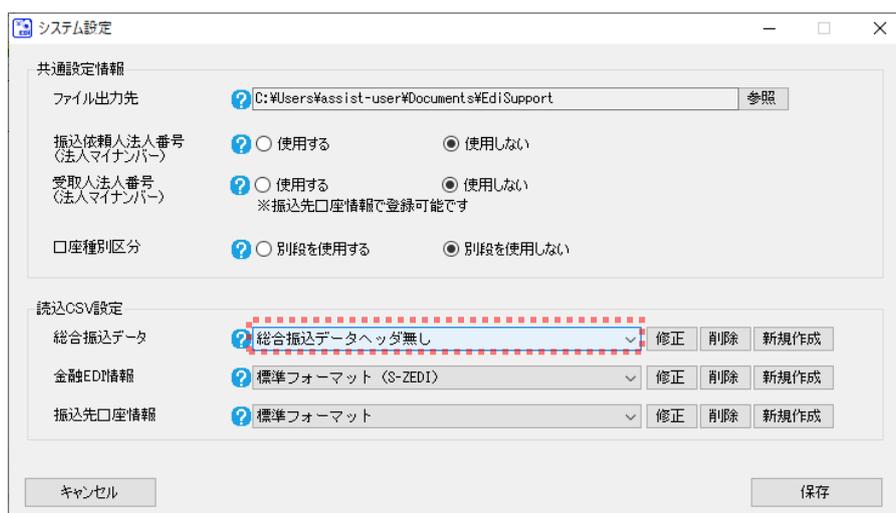
✚ [更新]を押下して保存が正常に完了すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。



✚ 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。

引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。

(使用フォーマットの設定については「2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定」をご参照ください。)



2.1.2 読込 CSV フォーマットを新規作成する【金融 EDI 情報】

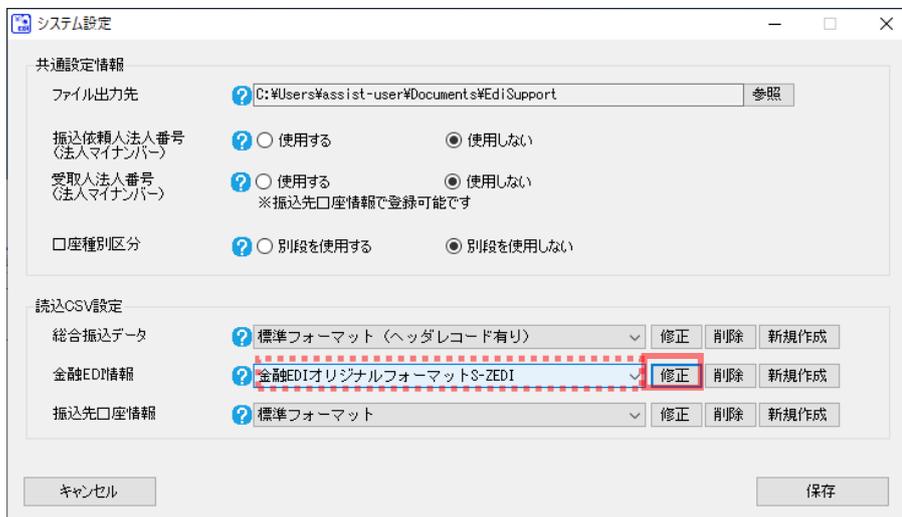
- システム設定画面を開き、「読込 CSV 設定」>「金融 EDI 情報」の[新規作成]を押下します。

- [新規作成]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面が表示されます。フォーマット名を入力し金融 EDI 情報テンプレート種別を選択後、[設定]を押下して読込 CSV フォーマット詳細設定画面に遷移もしくは[更新]を押下して詳細設定せずに保存します。(フォーマット形式は「ヘッダレコード無し」として固定、詳細については「3.1 読込 CSV フォーマット形式 (ヘッダレコード有り/無し)について」をご参照ください。)

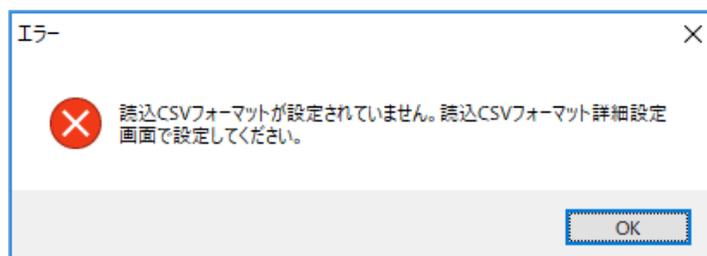
- 📌 [更新]を押下した場合、保存が完了すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。



- 📌 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。引き続き[修正]を押下し、フォーマットの詳細設定を行ってください。(修正については「2.2 読込 CSV フォーマットの修正」をご参照ください。)



任意フォーマットの CSV フォーマットを新規作成後、読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行う必要があります。詳細設定が完了していないフォーマットを使用して CSV の読込を行うと、下記エラーが発生します。



-
- 🌈 [設定]を押下した場合、読込 CSV フォーマット詳細設定画面が開きます。
- 金融 EDI 情報テンプレート種別が「S-ZEDI (XML 形式)」の場合は「**2.1.2.1 金融 EDI 情報_S-ZEDI**」を、「D-ZEDI (売掛消込)」の場合は「**2.1.2.2 金融 EDI 情報_D-ZEDI (売掛消込)**」を、「D-ZEDI (リポート)」の場合は「**2.1.2.3 金融 EDI 情報_D-ZEDI (リポート)**」をご参照ください。

2.1.2.1 金融 EDI 情報_S-ZEDI

- 読込 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。

読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行います。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 金融EDIオリジナルフォーマットS-ZEDI フォーマット形式 ヘッダレコード無

対象ファイル 金融EDI情報 金融EDI情報テンプレート種別 S-ZEDI (XML形式)

読込対象設定

読込むCSVファイルに読込対象外としたい行がある場合に設定します。
すべて読込む場合は設定不要です。

最初の 行は読込まない

最後の 行は読込まない

読込対象設定

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
業界区分		
データ区分		
支払通知番号		
支払通知発行日		
請求書番号 (入力推奨)		
支払人企業法人コード (入力推奨)		
受取人企業法人コード		
請求先企業名		

読込 CSV 項目設定

*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、総合振込データ作成詳細画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

キャンセル 保存

読込対象設定

【読込対象外行_最初】

任意フォーマットの金融 EDI 情報 CSV ファイルの最初に不要な行が存在する場合は、読みとばす行数を設定します。不要な行が存在しない場合は設定不要です。

【読込対象外行_最後】

任意フォーマットの金融 EDI 情報 CSV ファイルの最後に不要な行が存在する場合は、読みとばす行数を設定します。不要な行が存在しない場合は設定不要です。

読込 CSV 項目設定

データレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）を設定してください。（項目番号（読込位置）の詳細については「3.2 読込 CSV フォーマットの項目番号（読込位置）について」をご参照ください。）

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
業界区分		
データ区分		
支払通知番号		
支払通知発行日		
請求書番号（入力推奨）		
支払人企業法人コード（入力推奨）		
受取人企業法人コード		
請求先企業名		

- 設定完了後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。
項目番号（読み位置）が未設定の項目（読み CSV ファイルに存在しない項目）については、総合振込データ作成詳細画面にて CSV ファイル読みを行った後、画面にて任意の値を入力する必要があります。

読みCSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル 金融EDI情報テンプレート種別

読み対象設定

読みCSVファイルに読み対象外としたい行がある場合に設定します。
すべて読み込む場合は設定不要です。

最初の 行は読み込まない

最後の 行は読み込まない

読みCSV項目設定

各項目の項目番号(読み位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
業界区分	3	
データ区分		
支払通知番号		
支払通知発行日	7	
請求書番号 (入力推奨)		
支払人企業法人コード (入力推奨)		
受取人企業法人コード		
請求先企業名		

*1 固定値を設定した場合、CSV読みの際、総合振込データ作成詳細画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。

通知

設定情報を保存しました。

📌 [OK]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面に戻ります。

[更新]を押下して設定情報を保存します。

[更新]を押下して保存が正常に完了すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。

📌 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。

(使用フォーマットの設定については「[2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定](#)」をご参照ください。)

2.1.2.2 金融 EDI 情報_D-ZEDI (売掛消込)

- 読込 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。
読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行います。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル 金融EDI情報テンプレート種別

読込対象設定

読込むCSVファイルに読込対象外としたい行がある場合に設定します。
すべて読込む場合は設定不要です。

最初の 行は読込まない

最後の 行は読込まない

読込対象設定

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
業界区分		
データ区分		
請求取引先コード		
支払法人コード		
発注者コード		
請求書番号		
支払内容		
対象期間終了 (締日)		

読込 CSV 項目設定

*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、総合振込データ作成詳細画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

キャンセル

読込対象設定

【読込対象外行_最初】

任意フォーマットの金融 EDI 情報 CSV ファイルの最初に不要な行が存在する場合は、読みとばす行数を設定します。不要な行が存在しない場合は設定不要です。

【読込対象外行_最後】

任意フォーマットの金融 EDI 情報 CSV ファイルの最後に不要な行が存在する場合は、読みとばす行数を設定します。不要な行が存在しない場合は設定不要です。

読込 CSV 項目設定

データレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）を設定してください。（項目番号（読込位置）の詳細については「3.2 読込 CSV フォーマットの項目番号（読込位置）について」をご参照ください。）

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

	項目名	項目番号	固定値	
	業界区分			▲
	データ区分			
	請求取引先コード			
	支払法人コード			
	発注者コード			
	請求書番号			
	支払内容			
	対象期間終了(締日)			▼

- 設定完了後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。

項目番号（読込位置）が未設定の項目（読込 CSV ファイルに存在しない項目）については、総合振込データ作成詳細画面にて CSV ファイル読込を行った後、画面にて任意の値を入力する必要があります。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル 金融EDI情報テンプレート種別

読込対象設定

読込むCSVファイルに読込対象外としたい行がある場合に設定します。
すべて読込む場合は設定不要です。

最初の 行は読まない

最後の 行は読まない

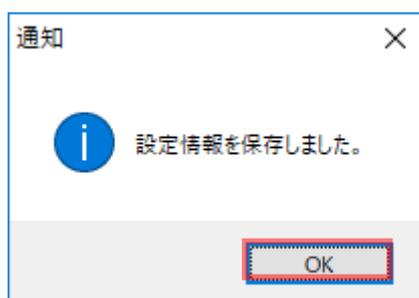
読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
業界区分	1	
データ区分	3	
請求取引先コード	4	
支払法人コード		
発注者コード	2	
請求書番号		
支払内容		
対象期間終了 (締日)		

*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、総合振込データ作成詳細画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。



✚ [OK]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面に戻ります。

[更新]を押下して設定情報を保存します。

[更新]を押下して保存が正常に完了すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。

✚ 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。

(使用フォーマットの設定については「2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定」をご参照ください。)

2.1.2.3 金融 EDI 情報_D-ZEDI (リポート)

- 読込 CSV フォーマット詳細設定画面を開き、フォーマット情報を設定します。
読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行います。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル 金融EDI情報テンプレート種別

読込対象設定

読込むCSVファイルに読込対象外としたい行がある場合に設定します。
すべて読込む場合は設定不要です。

最初の 行は読込まない

最後の 行は読込まない

読込対象設定

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
業界区分		
データ区分		
請求取引先コード		
支払法人コード		
発注者コード		
契約番号 (小売)		
契約番号枝番 (小売)		
契約対象終了日		

読込 CSV 項目設定

*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、総合振込データ作成詳細画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

キャンセル

読込対象設定

【読込対象外行_最初】

任意フォーマットの金融 EDI 情報 CSV ファイルの最初に不要な行が存在する場合は、読みとばす行数を設定します。不要な行が存在しない場合は設定不要です。

【読込対象外行_最後】

任意フォーマットの金融 EDI 情報 CSV ファイルの最後に不要な行が存在する場合は、読みとばす行数を設定します。不要な行が存在しない場合は設定不要です。

読込 CSV 項目設定

データレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）を設定してください。（項目番号（読込位置）の詳細については「3.2 読込 CSV フォーマットの項目番号（読込位置）について」をご参照ください。）

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
業界区分		
データ区分		
請求取引先コード		
支払法人コード		
発注者コード		
契約番号（小売）		
契約番号枝番（小売）		
契約対象終了日		

- 設定完了後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。

項目番号（読込位置）が未設定の項目（読込 CSV ファイルに存在しない項目）については、総合振込データ作成詳細画面にて CSV ファイル読込を行った後、画面にて任意の値を入力する必要があります。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 フォーマット形式

対象ファイル 金融EDI情報テンプレート種別

読込対象設定

読込むCSVファイルに読込対象外としたい行がある場合に設定します。
すべて読込む場合は設定不要です。

最初の 行は読込まない

最後の 行は読込まない

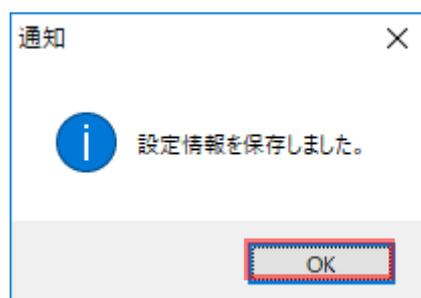
読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
業界区分	20	
データ区分	1	
請求取引先コード	2	
支払法人コード	3	
発注者コード	4	
契約番号 (小売)		
契約番号枝番 (小売)		
契約対象終了日		

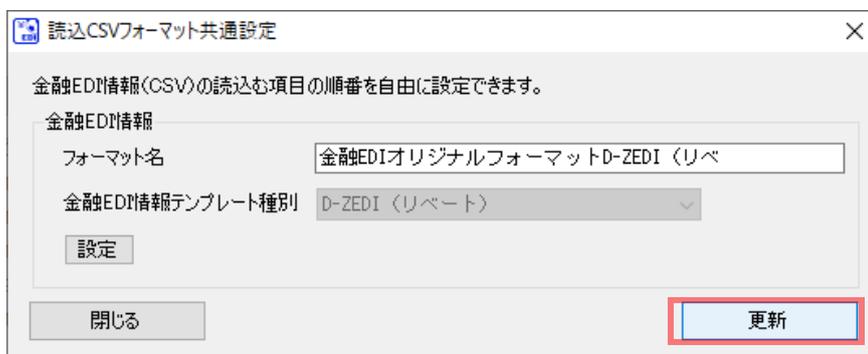
*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、総合振込データ作成詳細画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。



✚ [OK]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面に戻ります。

[更新]を押下して設定情報を保存します。

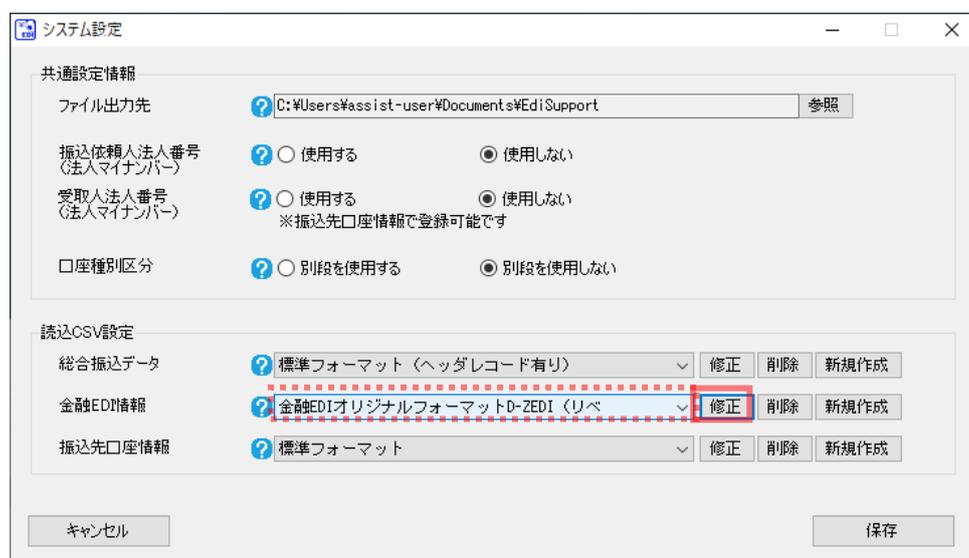


[更新]を押下して保存が正常に完了すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。



✚ 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。

(使用フォーマットの設定については「2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定」をご参照ください。)



2.1.3 読込 CSV フォーマットを新規作成する【振込先口座情報】

システム設定画面を開き、「読込 CSV 設定」>「振込先口座情報」の[新規作成]を押下します。

項目名	フォーマット	修正	削除	新規作成
総合振込データ	標準フォーマット (ヘッダレコード有り)	修正	削除	新規作成
金融EDI情報	標準フォーマット (S-ZEDI)	修正	削除	新規作成
振込先口座情報	標準フォーマット	修正	削除	新規作成

[新規作成]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面が表示されます。

フォーマット名を入力後、[設定]を押下して読込 CSV フォーマット詳細設定画面に遷移もしくは[更新]を押下して詳細設定せずに保存します。

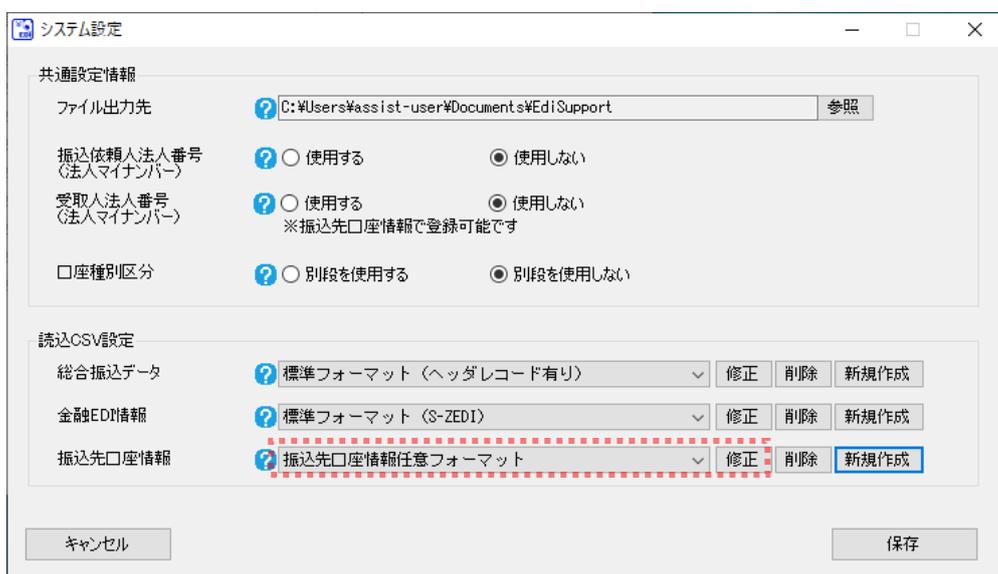
(フォーマット形式は「ヘッダレコード無し」として固定、詳細については「3.1 読込 CSV フォーマット形式 (ヘッダレコード有り/無し)について」をご参照ください。)

振込先口座情報
フォーマット名 振込先口座情報任意フォーマット

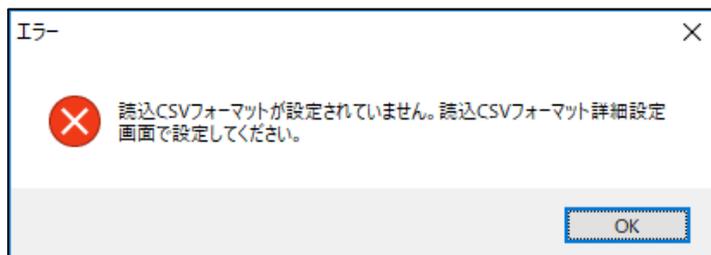
- ✚ [更新]を押下した場合、保存が完了すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。



- ✚ 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。
引き続き[修正]を押下し、フォーマットの詳細設定を行ってください。
(修正については「2.2 読込 CSV フォーマットの修正」をご参照ください。)



任意フォーマットの CSV フォーマットを新規作成後、読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行う必要があります。詳細設定が完了していないフォーマットを使用して CSV の読込を行うと、下記エラーが発生します。



✚ [設定]を押下した場合、読込 CSV フォーマット詳細設定画面が開きます。

読込 CSV ファイルの項目と本ソフトの画面項目を対応付ける(紐付ける)ための詳細設定を行います。

読込CSVフォーマット詳細設定

フォーマット名 振込先口座情報任意フォーマット フォーマット形式 ヘッダレコード無

対象ファイル 振込先口座情報

読込対象設定

読込むCSVファイルに読込対象外としたい行がある場合に設定します。
すべて読込む場合は設定不要です。

最初の 行は読込まない

最後の 行は読込まない

読込対象設定

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
検索キーワード		
金融機関コード		
金融機関名(加)		
支店コード		
支店名(加)		
口座種別		
口座番号		
受取人名(加)		

*1 固定値を設定した場合、CSV読込の際、振込先口座管理画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

キャンセル 保存

読込対象設定

【読込対象外行_最初】

任意フォーマットの振込先口座情報 CSV ファイルの最初に不要な行が存在する場合は、読みとばす行数を設定します。不要な行が存在しない場合は設定不要です。

【読込対象外行_最後】

任意フォーマットの振込先口座情報 CSV ファイルの最後に不要な行が存在する場合は、読みとばす行数を設定します。不要な行が存在しない場合は設定不要です。

読込 CSV 項目設定

データレコード項目の各項目名を確認し、読込 CSV ファイルの項目番号（読込位置）を設定してください。（項目番号（読込位置）の詳細については「3.2 読込 CSV フォーマットの項目番号（読込位置）について」をご参照ください。）

読込CSV項目設定

各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
検索キーワード		
金融機関コード		
金融機関名 (加)		
支店コード		
支店名 (加)		
口座種別		
口座番号		
受取人名 (加)		
受取人法人番号 (法人マイナンバー)		

- 設定完了後、[保存]を押下し、フォーマット情報を保存します。

項目番号（読み位置）が未設定の項目（読み CSV ファイルに存在しない項目）については、振込先口座管理画面にて CSV ファイル読みを行った後、画面にて任意の値を入力する必要があります。

読みCSVフォーマット詳細設定

フォーマット名: 振込先口座情報任意フォーマット フォーマット形式: ヘッダレコード無

対象ファイル: 振込先口座情報

読み対象設定

読み込むCSVファイルに読み対象外としたい行がある場合に設定します。
すべて読み込む場合は設定不要です。

最初の 行は読み込まない

最後の 行は読み込まない

読みCSV項目設定

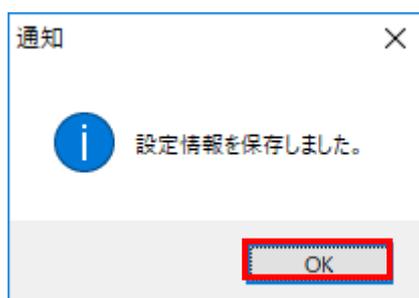
各項目の項目番号(読み位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
検索キーワード	1	
金融機関コード	2	
金融機関名 (加)	3	
支店コード		
支店名 (加)	5	
口座種別		
口座番号		
受取人名 (加)		

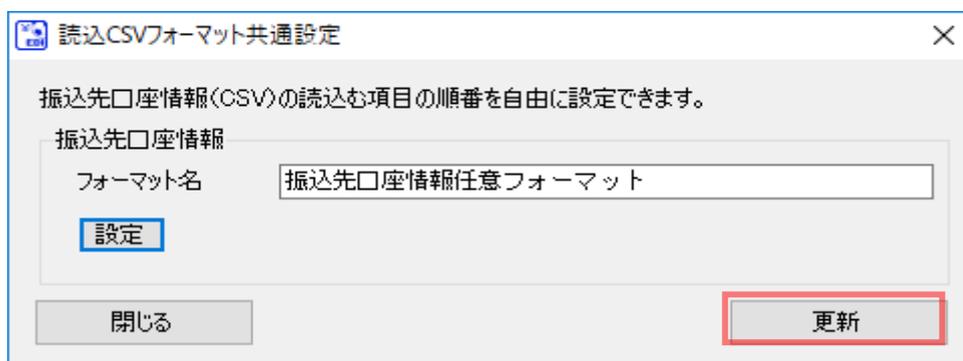
*1 固定値を設定した場合、CSV読みの際、振込先口座管理画面の初期値として設定されます。(項目番号は設定できません)

キャンセル 保存

- [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。



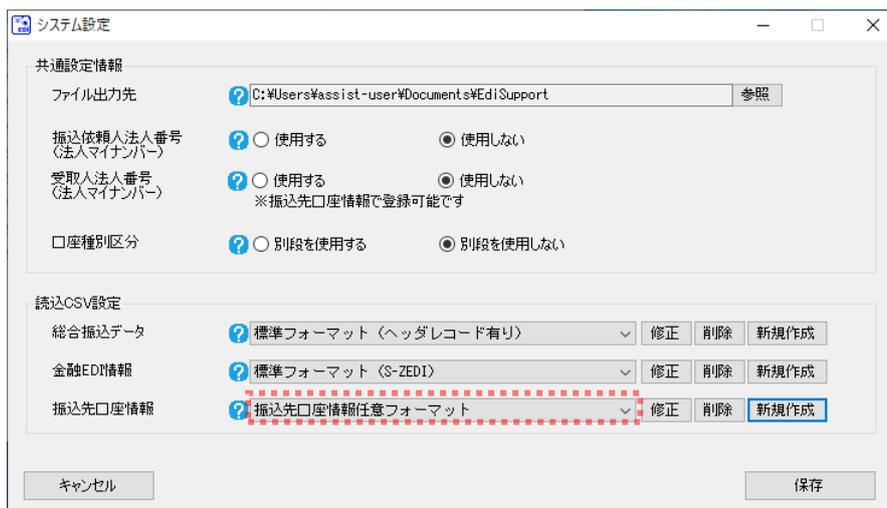
- ✦ [OK]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面に戻ります。
[更新]を押下して設定情報を保存します。



- ✦ [更新]を押下して保存が正常に完了すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。



- ✦ 使用フォーマットに新規作成したフォーマット名が追加されます。
引き続き、使用フォーマットの設定を行ってください。
(使用フォーマットの設定については「2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定」をご参照ください。)



2.2 読込 CSV フォーマットの修正

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを修正する方法を説明します。

操作手順

2.2.1 読込 CSV フォーマットを修正する

操作方法

2.2.1 読込 CSV フォーマットを修正する

- システム設定画面を開き、修正する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[修正]を押下します。

(標準フォーマットは修正できません。)

共通設定情報	
ファイル出力先	<input type="text" value="C:\Users%assist-user%\Documents\EdiSupport"/> 参照
振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー)	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない
受取人法人番号 (法人マイナンバー)	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない ※振込先口座情報で登録可能です
口座種別区分	<input type="radio"/> 別段を使用する <input checked="" type="radio"/> 別段を使用しない

読込CSV設定	
総合振込データ	<input type="text" value="総合振込データヘッダ有り"/> 修正 削除 新規作成
金融EDI情報	<input type="text" value="金融EDIオリジナルフォーマットS-ZEDI"/> 修正 削除 新規作成
振込先口座情報	<input type="text" value="振込先口座情報任意フォーマット"/> 修正 削除 新規作成

キャンセル 保存

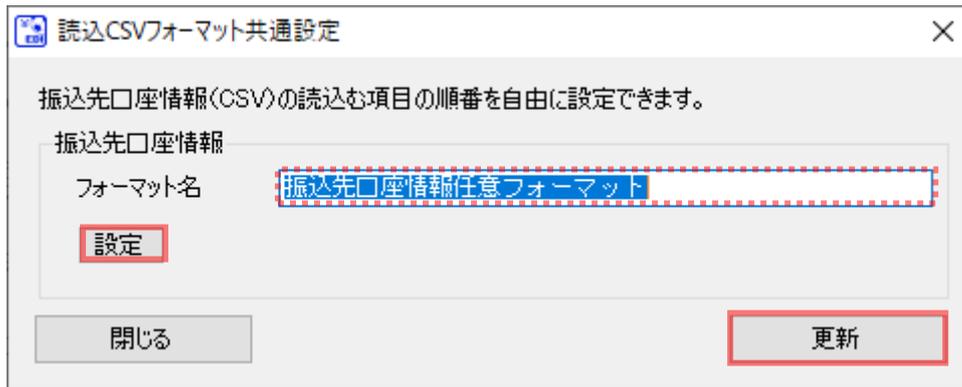
-
- ✚ [修正]を押下すると、読込 CSV フォーマット共通設定画面が開きます。
フォーマット名を修正する場合は、フォーマット名を変更後、[更新]を押下します。
読込 CSV フォーマットの設定を行う場合は、[設定]を押下します。

[設定]を押下すると、読込 CSV フォーマット詳細設定画面が開きます。
設定方法については「**2.1 読込 CSV フォーマットの新規作成**」をご参照ください。

※修正の場合、新規作成時に読込 CSV フォーマット共通設定画面にて一度設定した「ヘッダレコードの有無」「金融 EDI 情報テンプレート種別」は変更できません。

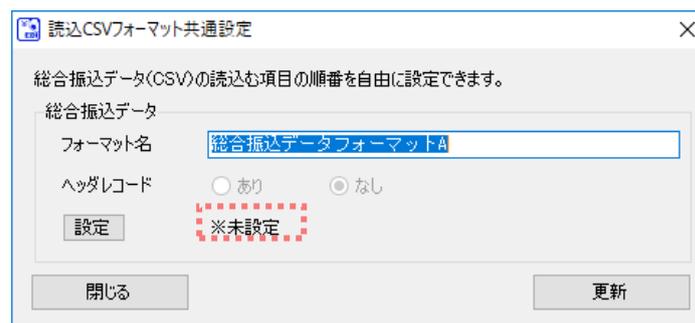
The screenshot shows a dialog box titled '読込CSVフォーマット共通設定' (Read CSV Format Common Settings). The main text says '総合振込データ(CSV)の読込む項目の順番を自由に設定できます。' (You can freely set the order of items to be read for General Remittance Data (CSV)). Under the '総合振込データ' (General Remittance Data) section, there is a 'フォーマット名' (Format Name) field containing '総合振込データヘッダ有り' (General Remittance Data with Header), which is highlighted with a red dashed border. Below it, the 'ヘッダレコード' (Header Record) is set to 'あり' (Yes) with a selected radio button. At the bottom left is a '設定' (Settings) button, and at the bottom right is an '更新' (Update) button. A '閉じる' (Close) button is also present at the bottom left.

The screenshot shows a dialog box titled '読込CSVフォーマット共通設定' (Read CSV Format Common Settings). The main text says '金融EDI情報(CSV)の読込む項目の順番を自由に設定できます。' (You can freely set the order of items to be read for Financial EDI Information (CSV)). Under the '金融EDI情報' (Financial EDI Information) section, there is a 'フォーマット名' (Format Name) field containing '金融EDIオリジナルフォーマットS-ZEDI' (Financial EDI Original Format S-ZEDI), highlighted with a red dashed border. Below it, the '金融EDI情報テンプレート種別' (Financial EDI Information Template Type) is set to 'S-ZEDI (XML形式)' (S-ZEDI (XML Format)) in a dropdown menu. At the bottom left is a '設定' (Settings) button, and at the bottom right is an '更新' (Update) button. A '閉じる' (Close) button is also present at the bottom left.

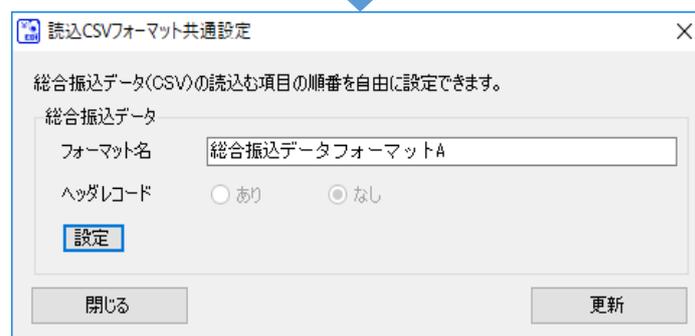


読込 CSV フォーマットの設定を行うと、読込 CSV フォーマット共通設定画面より「※未設定」の表示が消えます。

各対象フォーマットの設定有無の状態については、「※未設定」の表示有無にてご確認ください。



(読込 CSV フォーマット詳細設定画面にて設定を行う)



2.3 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットの設定

読込 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する方法を説明します。

操作手順

2.3.1

読込 CSV フォーマットの使 用フォーマットを設定する

操作方法

2.3.1 読込 CSV フォーマットの使用フォーマットを設定する

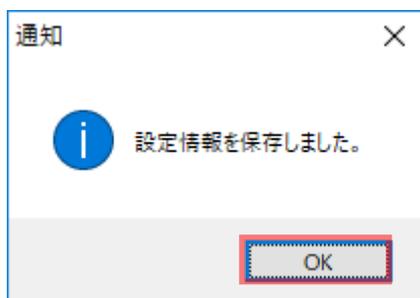
総合振込データ、振込先口座情報の場合

システム設定画面を開き、使用フォーマットをプルダウンより選択し、[保存]を押下します。

The screenshot shows the 'システム設定' (System Settings) dialog box. It is divided into two main sections: '共通設定情報' (Common Setting Information) and '読込CSV設定' (CSV Import Setting). In the '読込CSV設定' section, three rows are visible: '総合振込データ' (Total Transfer Data), '金融EDI情報' (Financial EDI Information), and '振込先口座情報' (Transfer Recipient Account Information). Each row has a dropdown menu for selecting a format. The '総合振込データ' dropdown is set to '総合振込データヘッダ有り' (Total Transfer Data with Header), and the '振込先口座情報' dropdown is set to '振込先口座情報任意フォーマット' (Transfer Recipient Account Information Arbitrary Format). Both dropdown menus are highlighted with a red dashed border. To the right of each dropdown are buttons for '修正' (Modify), '削除' (Delete), and '新規作成' (New). At the bottom of the dialog, there are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons. The '保存' button is highlighted with a red solid border.

項目	設定	操作
総合振込データ	総合振込データヘッダ有り	修正 削除 新規作成
金融EDI情報	金融EDIオリジナルフォーマットS-ZEDI	修正 削除 新規作成
振込先口座情報	振込先口座情報任意フォーマット	修正 削除 新規作成

- 📌 [保存]を押下すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。
以上で使用フォーマットの設定が完了になります。



任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを新規作成した際、システム設定画面の対象プルダウンに、新規作成したフォーマット名が表示されますが、本手順にて[保存]を押下するまでは使用フォーマットとして設定されませんのでご注意ください。

金融 EDI 情報の場合

- 📌 金融 EDI 情報の場合は、CSV ファイル読込時に都度フォーマットを選択します。
総合振込データ作成詳細画面を開き、読込みたい金融 EDI 情報テンプレートに画面を切り替えてから、[CSV ファイル読込]を押下します。

行	1
読込No	

振込先情報

取引ID詳細識別番号*	0000000000000001
受取人名(カナ)*	ウチノカ
金融機関コード*	0000
金融機関名(カナ)	ウチノカ
支店コード*	001
支店名(カナ)	ウチノカ
口座種別*	1: 普通
口座番号*	0000001

振込先
座情報
選択

振込金額(円)*	100,000
顧客コード1	
顧客コード2	
EDI情報(20桁)	
新規コード*	1: 第一回振込分

金融 EDI 情報

現在の金融 EDI 情報テンプレート: **S-ZEDI (XML形式)**

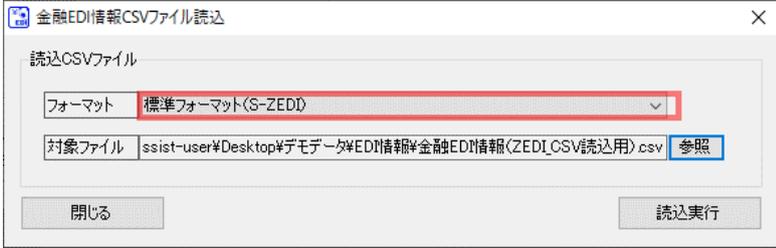
金融 EDI 情報テンプレート切替

詳細	業界区分	データ区分	支払通知番号	支払通知発行日	請求書番号(入力推奨)	支払
1						

エラー検索

-
- 金融 EDI 情報 CSV ファイル読込画面が表示されるので、使用フォーマットをプルダウンより選択します。

システム設定画面の金融 EDI 情報のプルダウンで選択しているものを初期表示します。



金融EDI情報CSVファイル読込

読込CSVファイル

フォーマット 標準フォーマット(S-ZEDI)

対象ファイル ssist-user\Desktop#デモデータ#EDI情報#金融EDI情報(ZEDI_CSV読込用).csv 参照

閉じる 読込実行



プルダウンには、総合振込データ作成詳細画面で選択した金融 EDI 情報テンプレートのフォーマットのみ表示されます。設定したフォーマットが表示されない場合は、システム設定画面より、設定したフォーマットのテンプレートの種類をご確認ください。

2.4 読込 CSV フォーマットの削除

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを削除する方法を説明します。

操作手順

2.4.1 読込 CSV フォーマットを削除する

操作方法

2.4.1 読込 CSV フォーマットを削除する

- システム設定画面を開き、削除する対象の使用フォーマットをプルダウンより選択し、[削除]を押下します。

標準フォーマットは削除できません。

システム設定

共通設定情報

ファイル出力先 参照

振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 使用する 使用しない

受取人法人番号 (法人マイナンバー) 使用する 使用しない
※振込先口座情報で登録可能です

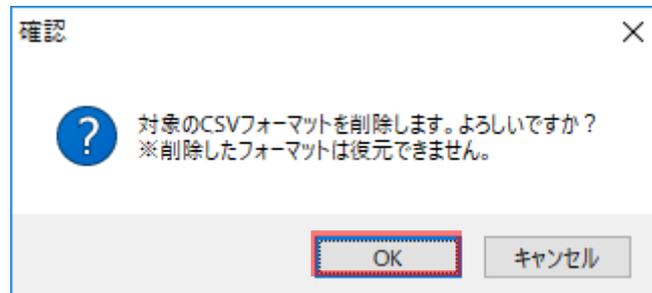
口座種別区分 別段を使用する 別段を使用しない

読込CSV設定

総合振込データ	総合振込データヘッダ有り	修正	削除	新規作成
金融EDI情報	金融EDIオリジナルフォーマットS-ZEDI	修正	削除	新規作成
振込先口座情報	振込先口座情報任意フォーマット	修正	削除	新規作成

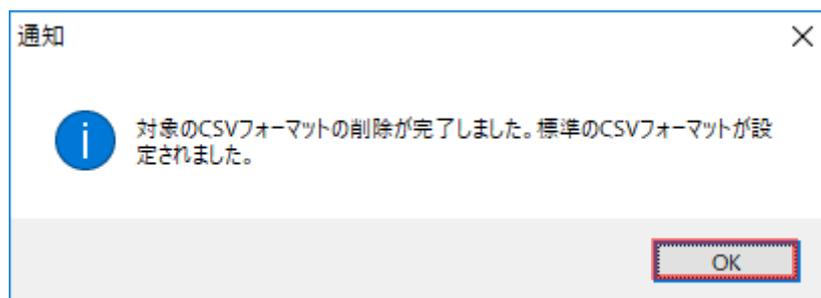
キャンセル 保存

-
- ✚ [削除]を押下すると、下記ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。

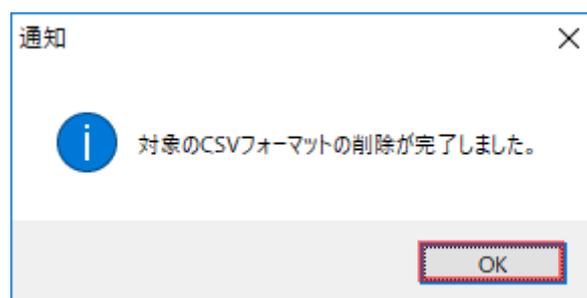


- ✚ 正常に削除が完了すると、下記ダイアログが表示されるので、[OK]を押下します。
使用フォーマットの設定により、表示されるダイアログが異なります。

- ・使用フォーマットに設定した読込 CSV フォーマットを削除した場合



- ・使用フォーマットに設定していない読込 CSV フォーマットを削除した場合



3 補足事項 (読込 CSV フォーマット設定)

3.1 読込 CSV フォーマット形式 (ヘッダレコード有り/無し)について

- ✚ 本ソフトでは、総合振込データ CSV ファイルを読込む際に任意フォーマットとして使用する場合、2種類の読込 CSV フォーマット形式を選択できます。
(金融 EDI 情報および振込先口座情報の読込 CSV フォーマット形式には「ヘッダレコード無し」のみを選択できます。)
- ✚ CSV ファイル読込を行う際、ヘッダ情報は総合振込データ作成画面のヘッダ情報部に、データ情報は総合振込データ作成画面、総合振込データ作成詳細画面、振込先口座管理画面のデータ情報部に反映されます。

3.1.1 ヘッダレコード有りフォーマット

ヘッダレコード有りフォーマットとは、1行目にヘッダ情報、2行目以降にデータ情報が設定されたCSVファイルを読み込む場合に使用するフォーマットです。

📌 総合振込データ作成画面

```
"1","21","0","1234567890","フコミライニメイ","20190901","0000","シムケ","001","シテンメイ","2","1234567",""
"2","1234","フコミサキソウ","002","シテン","","2","0000002","ウトリニメイカナ","1234567890","2","code1","7","Y",""
```

ヘッダレコード
データレコード

総合振込データ作成

固定長ファイル読込 CSVファイル読込 XMLファイル読込

読込ファイル タ (CSV) サンプル振込データ (標準フォーマット (ヘッダあり)) .csv

グループメッセージID* 201905291354001

振込日* 2019/05/29

振込元情報

支払情報ID* 201905291354001

社内
 座情報
 選択

振込依頼人コード* 1234567890
振込依頼人名(カナ)* フコミライニメイ
金融機関コード* 0000
支店コード* 001
 座種別* 2: 当座
 座番号 1234567

ヘッダ情報部

振込先情報

項目説明表示

	詳細	金融EDD情報	読込No	取引ID詳細識別番号*	受取人名(カナ)*	金融機関コード*	金融機関
▶ 1	詳細	未設定	1 1		ウトリニメイカナ	1234	フコミサキソウ

データ情報部

エラー検索
次のエラー

取引ID詳細識別番号自動設定
実行

合計件数(件) 1
合計金額(円) 1,000,000

戻る XMLファイル作成

3.1.2 ヘッダレコード無しフォーマット

ヘッダレコード無しフォーマットとは、ヘッダ情報の設定はなく、データ情報のみが設定された CSV ファイルを読み込む場合に使用するフォーマットです。

総合振込データ作成画面

"1","ウケトリニン","9990","キヌユキカン","001","シテン","2","2234567","99999","0123456789","0123456789","","1"
 "2","ウケトリニン","9990","キヌユキカン","001","シテン","2","2234567","99999","0123456789","0123456789","","1"

データレコード

詳細	金融EDI情報	読込No	取引明細識別番号*	受取人名(カナ)*	金融機関コード*	金融機関
1	未設定	1	ウケトリ	ウケトリ	9990	キヌユキ
2	未設定	2		ウケトリ	9990	キヌユキ



フォーマット形式が「ヘッダレコード無し」の場合、ヘッダ情報がないため、ヘッダ情報部にて値を入力する必要があります。

総合振込データ作成詳細画面

"1","1","1234567","20190101","1234567","1234567890123","1234567890123","テスト企業","1234567890123",
 "99999","テスト理由","99999","999","1","999","1","9999","テスト備考"

データレコード

総合振込データ作成詳細

行 1

振込先情報

取引ID詳細識別番号* 1

振込先口座情報

受取人名(カナ)* ヲリコ

金融機関コード* 0000

金融機関名(カナ) セイブバンク

支店コード* 001

支店名(カナ) 伊予

口座種別* 1: 普通

口座番号* 4444444

振込金額(円)* 200

顧客コード1

顧客コード2

EDI情報(20行)

新規コード* 1: 第一回振込分

金融EDI情報

現在の金融EDI情報テンプレート S-ZEDI (XML形式)

金融EDI情報テンプレート切替

詳細	業界区分	データ区分	支払通知番号	支払通知発行日	請求書番号(入力推奨)	支払
1	1	1	1234567	20190101	1234567	1234567

データ情報部

エラー検索

次のエラー

閉じる 保存

振込先口座管理画面

```

"test","9990","A123 エーアイウエーオヤエ","001","B345 ヤウヨツイデーグウ","1","1234567","テストウケトリニシ",""
"test","9990","A123 エーアイウエーオヤエ","001","B345 ヤウヨツイデーグウ","2","1234567","テストウケトリニシ",""
"test","9990","A123 エーアイウエーオヤエ","001","B345 ヤウヨツイデーグウ","4","1234567","テストウケトリニシ",""
"test","9990","A123 エーアイウエーオヤエ","001","B345 ヤウヨツイデーグウ","9","1234567","テストウケトリニシ",""
"test","9990","A123 エーアイウエーオヤエ","001","B345 ヤウヨツイデーグウ","1","1234567","テストウケトリニシ",""
"test","9990","A123 エーアイウエーオヤエ","001","B345 ヤウヨツイデーグウ","2","1234567","テストウケトリニシ",""
"test","9990","A123 エーアイウエーオヤエ","001","B345 ヤウヨツイデーグウ","4","1234567","テストウケトリニシ",""
"test","9990","A123 エーアイウエーオヤエ","001","B345 ヤウヨツイデーグウ","9","1234567","テストウケトリニシ",""

```

データレコード

振込先口座管理

CSVファイル読み込み CSVファイル出力

* がついている項目は入力必須項目です

振込先情報

	検索キーワード*	金融機関コード*	金融機関名(カナ)	支店コード*	支店名(カナ)	口座種別*
▶ 1	test	9990	A123 エーアイウエーオヤエ	001	B345 ヤウヨツイデーグウ	1: 普通
2	test	9990	A123 エーアイウエーオヤエ	001	B345 ヤウヨツイデーグウ	2: 当座
3	test	9990	A123 エーアイウエーオヤエ	001	B345 ヤウヨツイデーグウ	4: 貯蓄
4	test	9990	A123 エーアイウエーオヤエ	001	B345 ヤウヨツイデーグウ	9: 別段
5	test	9990	A123 エーアイウエーオヤエ	001	B345 ヤウヨツイデーグウ	1: 普通
6	test	9990	A123 エーアイウエーオヤエ	001	B345 ヤウヨツイデーグウ	2: 当座
7	test	9990	A123 エーアイウエーオヤエ	001	B345 ヤウヨツイデーグウ	4: 貯蓄
8	test	9990	A123 エーアイウエーオヤエ	001	B345 ヤウヨツイデーグウ	9: 別段
9	test	9990	A123 エーアイウエーオヤエ	001	B345 ヤウヨツイデーグウ	1: 普通

エラー検索
次のエラー

戻る

データ情報部

更新

3.2 読込 CSV フォーマットの項目番号 (読込位置)について

任意フォーマットの読込 CSV フォーマットを使用する場合、項目番号 (読込位置)を設定することで、項目の読込順を自由に設定することができます。

総合振込データ作成画面、総合振込データ作成詳細画面または振込先口座管理画面にて CSV ファイル読込を行う際、CSV フォーマットの項目番号 (読込位置)の設定を基に、各項目をマッピングして読込みます。

設定例 (総合振込データ読込 CSV フォーマットの項目番号 (読込位置))

読込 CSV ファイル

ヘッダレコード

```
"20191030","1234512345","ファミライオン ","0000","007","1","1234567","ABC","123"
```

データレコード

```
"ウケトリン","1111111111","1234567","1256789","9990","001","1","1234567","1","キョウキカン","シテン","1",""
```

読込 CSV フォーマット設定

項目名	項目番号	固定値
グループメッセージID		
振込日	1	
支払情報ID		
振込依頼人コード	2	
振込依頼人名(か)	3	
振込元金融機関コード	4	
振込元支店コード	5	
振込元口座種別	6	
振込元口座番号	7	

項目名	項目番号	固定値
取引明細識別番号		
受取人名(か)	1	
振込先金融機関コード	5	
振込先金融機関名(か)		
振込先支店コード	6	
振込先支店名(か)		
振込先口座種別	7	
振込先口座番号	8	
振込金額	2	
顧客コード1	3	
顧客コード2	4	

マッピング

■ヘッダレコード

読込 CSV ファイル	CSV フォーマット設定
1 "20181030"	振込日 ⇒ 20181030
2 "1234512345"	振込依頼人コード ⇒ 1234512345
3 "ファミライオン"	振込依頼人名(か) ⇒ ファミライオン
4 "0000"	振込元金融機関コード ⇒ 0000
5 "007"	振込元支店コード ⇒ 007
6 "1"	振込元口座種別 ⇒ 1
7 "1234567"	振込元口座番号 ⇒ 1234567
8 "ABC"	
9 "123"	

■データレコード

読込 CSV ファイル	CSV フォーマット設定(画面表示順)
1 "ウケトリン"	受取人(か) ⇒ ウケトリン
2 "1111111111"	振込金額 ⇒ 1111111111
3 "1234567"	振込先金融機関コード ⇒ 9990
4 "1256789"	振込先金融機関名(か)(なし)
5 "9990"	振込先支店コード ⇒ 001
6 "001"	振込先支店名(か)(なし)
7 "1"	振込先口座種別 ⇒ 1
8 "1234567"	振込先口座番号 ⇒ 1234567
9 "1"	顧客コード1 ⇒ 1234567
10 "キョウキカン"	顧客コード2 ⇒ 1256789
11 "シテン"	EDI 情報(20 桁)(なし)
12 "1"	新規コード ⇒ 1
13 ""	

CSV ファイル読込

The screenshot shows the 'CSVファイル読込' (CSV File Import) screen. It includes input fields for '振込日' (2018/10/30), '支払情報ID' (201805291428001), '振込依頼人コード' (1234512345), and '振込依頼人名(か)' (ファミライオン). Below, there are dropdowns for '金融機関コード' (0000), '支店コード' (007), '口座種別' (1: 普通), and '口座番号' (1234567). A table at the bottom shows the imported data with columns for '詳細', '金融EDI情報', '読込No', '読込金額(円)', '顧客コード1', '顧客コード2', 'EDI情報(20桁)', and '新規コード'. The first row shows '未読込' status with a value of 1 for '読込No' and 1,111,111,111 for '読込金額(円)'. The '新規コード' is set to '1: 第一回振込分'.

3.3 読込 CSV フォーマットの固定値設定機能について

総合振込データ読込 CSV フォーマットを設定する場合、一部の項目に固定値を設定することができます。設定した固定値は、総合振込データ作成画面にて CSV ファイル読込を行う際、一律初期値として設定されます。

CSV ファイル

↓

CSV ファイル読込

読込 CSV フォーマット設定

データレコード項目
各項目の項目番号(読込位置)を指定してください。

項目名	項目番号	固定値
振込先金融機関コード	5	
振込先金融機関名(カナ)	1	
振込先支店コード	2	
振込先支店名(カナ)	3	
振込先口座種別	13	
振込先口座番号	12	
振込金額	11	
顧客コード1		123456789
顧客コード2		123456789
EDI情報(20桁)	8	
新規コード	9	

総合振込データ作成

固定長ファイル読込 **CSVファイル読込** XMLファイル読込 読込ファイル C:\Users\Wassist-us

グループメッセージID* 20181113134030000001

振込日* 2018/11/13

振込元情報

支払情報ID* 1

社内口座情報

振込依頼人コード* 1234512345

振込依頼人名称(カナ)* カボライン

金融機関コード* 0000

支店コード* 007

口座種別* 1:普通

口座番号 1234567

振込先情報

詳細	金融EDI情報	読込No.号*	振込金額(円)**	顧客コード1	顧客コード2	EDI情報(20桁)**	新規コード*
1	未設定	1	1,111,111,111	123456789	123456789		1: 第一回振込分
2	未設定	2	1,111,111,111	123456789	123456789	12345678901234567890	2: 変更分
3	未設定	3	1,111,111,111	123456789	123456789		0: その他
4	未設定	4	1,111,111,111	123456789	123456789	12345678901234567890	1: 第一回振込分
5	未設定	5	1,111,111,111	123456789	123456789		2: 変更分

エラー検索 取り消し詳細識別番号自動設定

次のエラー 実行

合計件数(件) 5

合計金額(円) 5,555,555,555

戻る XMLファイル作成

マッピング

総合振込データ読込 CSV フォーマットにおいて、固定値が設定可能である項目および設定値について、一覧を以下に示します。

No	固定値が設定可能である項目	設定値	備考
1	顧客コード1	EDI属性(※)	
2	顧客コード2	EDI属性(※)	
3	EDI情報 (20桁)	-	
4	新規コード	0：その他 1：第一回振込分 2：変更分	

※基本操作編「3.6.4 EDI属性」をご参照ください。

金融 EDI サポート 操作マニュアル

CSV フォーマット設定編

2019 年 12 月 2 日 第 1.2 版 発行（2023 年 7 月 1 日 改定）

- ・本書の内容の一部あるいは全部（ソフトウェアおよびプログラムを含む）は、全銀 EDI システムを使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、金融 EDI サポートの著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-